



国民春闘共闘

第40号

2018年4月23日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第5回賃上げ集計

単純平均 5,503 円・2.00%、加重平均 6,206 円・2.10%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は20日、第5回目の賃金改定集計を行い、21単産・部会から報告が寄せられました

<回答状況>

	2018年	2017年（同期）
登録組合数	818	823
回答引き出し組合数	384 (46.9%)	400 (48.6%)
うち金額・率の回答	284	290
うち「定昇確保」など言葉による回答	100	110
うち上積み獲得	70 (18.2%)	74 (18.5%)
うち妥結組合数	114 (29.7%)	117 (29.3%)

<回答内容>

集計方法&対象		2018年	2017年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,503	5,301	+202
	率（%）	2.00	2.01	-0.01
加重平均	額（円）	6,206	5,800	+406
	率（%）	2.10	2.05	+0.05
	組合員数	71,302	63,809	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
262	159 (60.7%)	117	42

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	262	5,529	5,456	+73
	率（%）	177	2.06	2.04	+0.02

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

4月20日の第5回集計には、別表の21単産・部会から報告が寄せられました。

登録818組合のうち、回答を引き出したのは384組合・46.9%です。384組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が100組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は284組合となっています。JMITUの4組合が4次回答以上の回答を引き出しなど、回答引出し組合の18.2%にあたる70組合が2次回答以上の上積み回答を引き出しています。また、114組合が妥結となっています。(妥結率29.7%)。

回答内容

有額回答を引き出した21単産・部会384組合での単純平均(一組合あたりの平均)は5,503円・2.00%で、前年同期比202円増・0.01%増減となっています。加重平均(組合員一人あたりの平均)は6,206円・2.10%で、前年同期(5,800円・2.05%)比406円・0.05%増となっています(額のみ・率のみの回答の組合があるため額・率は連動せず)。

同一組合での対比が可能な262組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,529円で、前年実績を73円上回っています。また、60.7%にあたる159組合が前年実績以上の回答を引き出しています。率では177組合の比較で、2.06%で昨年実績を0.02%上回っています。

全農協労連(2)、JMITU(5)、建交労・運輸(1)、民放労連(2)、出版労連(9)、映演労連(2)、地方マスコミ(1)の22組合で1万円を超える大幅引き上げの回答を引き出している一方で、定昇確保にとどまっている組合も少なくありません。

組合規模別の回答状況では、29人以下の小規模組合と1000人以上の大規模組合で、それぞれ前年実績を超えている(小規模:296円・0.06%増、大規模:12円・0.11%増)ものの、中規模(30人~999人)の組合では、引き上げ率が前年実績を下回る結果となっています。

単産・部会別の回答状況を見ると、単純平均では前年同期比で全農協労連が1,572円、JMITUが1,013円とやや好調な回答状況となっているものの、卸売・小売、マスコミ関係で前年実績を下回る苦戦となっており、全体としては厳しい状況となっています。

引き続き要求に固執し、粘り強い交渉を行いましょう。

非正規で働くなかまの賃上げ状況・最賃協定など

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全労連・全国一般、全印総連、日本医労連、地方マスコミの8単産178組合から306件の成果獲得の報告が寄せられています。時給制労働者では、引上げ額で119件の平均で21.5円となっています。率では、31件平均で1.73%の引き上げとなっています。こうした中、生協労連のユーコープ労組では、35円・(3.65%~4.17%)の引き上げ回答を勝ち取るなどの成果も出ています。再雇用者の処遇改善では、JMITUの組合で22,500円の賃上げ回答を引き出しなどの報告をはじめ30件(時給制・月給制計)の成果報告が寄せられています。

企業内最賃協定の獲得状況について、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、日本医労連の5単産74組合から214件の獲得報告が寄せられています。化学一般労連、生協労連、日本医労連で

は、昨年の報告数を超えての報告となっており、企業内最賃協定が広がっています。また、新協定額の報告のあった時間額の単純平均は 956 円、日額の単純平均 7,469 円、月額では 166,199 円となっています。

安倍 9 条改憲・労働法制改悪 NO !
賃上げと安定雇用で地域活性化 !